

## お知らせ

- 次回定例活動日；7月20日（月、祝日）9時30分第2駐車場集合。主な活動は相対照度測定、巨木林調査、食害調査、植生調査、新マダケ標識など。
- 探訪―「森林研究所」；6月27日（土）午後 「森林づくり」「森林のめぐみ」「森林セラピー」について、各先生方により森林研究所敷地内を案内いただきながら講義を受けます。参加希望者は上記事務局に連絡下さい。

## 活動の記録

6月14日（日）曇；新井、安藤、石井、伊藤、鶴沢、大賀先生、甲斐、久我夫妻、福島、福田、真鍋、村野の13名参加。二ホンシカ調査、食害調査、植生保護の補強、水辺清掃、巨木林調査など実施。梅雨空ながら幸運に雨に遭わず、充実の一日でした。参加の皆様お疲れ様。

○二ホンシカ個体数調査；福島動物班長から島入口で実施要領の説明を受け、7コースに別れて10:00～11:00に島内を一斉に踏査しました。巨木林とスタジイ林に新しいフンが見つかったがシカは確認できなかった。なお、巨木林にイノシシが餌を探した時にできるようなラッセル痕がありました。犯人はいついいたでれしょう？

○食害調査；景観管理林・巨木林のAコースとマダケ林・ホテイ岬方面のBコースに別れて調査。植物の種別に食害の程度を調査基準に従い、0：無し、1：軽、2：中、3：重と4ランクに判定、食害部位と食害の状況を記録・撮影。Aコースは女性陣多く「葉がなく茎だけ残るこの植物は？」「??」「ヤブレガサ！」「当り！」「動物はヤブレガサがお好き？」と甲高い賑やかな声を響かせながら。

今回と前回の調査結果を3-4頁「食害調査記録09年5～6月」に掲載。今まで眺めていた以上に食害は進んでいて、個体の7割以上被害を受けた「重」程度が意外に多い半面、全く食害のない植物もあることがわかってきました。また巨木林に昨年植生保護柵を設置して1年経過し、内外の林床の光景に大きな差を生じていて、食害の大きさを物語っています。

マダケ保護柵の外にはタケノコの食痕が散見される一方、保護柵内はタケノコが元気に成長中。昨年タケノコ全滅のため、前回活動日に補修した保護柵内も補修の効果できめん、見事にタケノコが成長しています（右写真）。そしてノウサギ犯人説も立証されました。



蘇ったマダケ



活動終えて充実感と疲労感



一斉踏査前の実施要領説明



賑やかに食害調査

この活動は2009年度セブン・イレブンみどりの基金の公募助成を受けています





○植生保護柵補修； 前回保護したツチアケビが広場脇、ホテイ岬とも見事に開花しているが、花が金網の天井や壁に接触しているため、大きい金網に取替えたり、位置をずらして花と実のスペースを確保した。ウイナーソーセージ状の実がたわわに実る8月にご期待下さい。



金網から顔を出したツチアケビの花



保護金網補修・取替え

○巨木林調査（林床木本調査）；大賀先生は調査区内の落葉樹の種名同定・記録作業に専念されましたが、次回に継続になりました。同定よりも冬の間にはナンバリングした樹木の搜索に手間取っていますので、次回は搜索作業応援を募ります。



全員参加の水辺クリーン作戦

○水辺清掃；スタジイ林の水辺に漂着したペットボトルや瓶・缶、弁当箱、発砲スチロールなどのごみを全員で拾い集め、広場に運んで分別、袋詰めしました。数の勢いで、ごみの散乱した水辺は、瞬く間にきれいになりました。

### 豊英島ニュース



○トビのヒナ；今年孵ったヒナは1羽でした。卵一個は巣に残っています（雛の右）孵ったヒナは産毛がとれて、遅い大人に成長中で巣立ちに近い？

○イワタバコ；禁断の岬崖のイワタバコは開花寸前の蕾でした。7月の定例活動日は花が終わっているでしょう。



### 関係機関にご挨拶

6月11日、坂本代表、真鍋、新井両副代表3名で、日ごろから「千年の森」の活動で、いろいろお世話になっている君津市、千葉県の関係機関を表敬訪問し、交流を深めてまいりました。

君津市役所では、まず里山関連担当の経済部で、伊藤農林振興課長さんが親しく対応いただき、清和出身ということもありぜひ活動の状況を見学したいとの積極的な発言をいただいた。また経済部の稲村次長にも、豊英島の活動について、暖かい励ましの言葉を頂いた。次に、土木部管理課にお伺いし、吊り橋の補修についてお礼を述べ、今後の管理についてお願いした。「君津には橋がたくさんあるが、利用者の安全を図るため、着実に管理していく」との大野建設部次長（課長兼務）お言葉をいただき、心強くなり、今後の活動の展望が見えてほっとする。

中部林業では、麻生所長、森森林管理課長さんにお会いし、君津地域の県有林の現状の説明をいただき、君津地方のみならず、森林管理全般にわたる意見交換をし、有意義な時間を過ごしました。さらに木更津にある君津農林振興センターでは、内田所長、徳道主幹、一本木技師と懇談、今後の里山関連事業の推進と森林ボランティア活動全般にわたる方向性などにつき1時間にわたる熱心な交流が行われました。

関係機関は、みな真摯に対応いただき、今後の当会の活動にご支援をいただくこととお約束いただく機会となり、きわめて、有意義な訪問となりました。

また、14日の活動の後、地元豊英区の岩田自治会長（区長）さんを表敬訪問し、地元としてのご協力とご支援をお願いしてきました。（新井記）

豊英島食害調査記録（中間報告09年5-6月データ）

種名	場所	程度	新・古	部位	食害状況	調査者	年月日	画像
アオキ	A	3	0	葉、芽、枝		福島他	90614	
アカガシ	A	2	1	葉		福島他	90614	
イヌガヤ	A	3	1	葉、莖		福島他	90614	CIMG685
イヌツゲ	B	3	0	葉		福島他	90524	CIMG682
イヌツゲ	A	3	0	葉、芽、小枝		福島他	90614	
ウグイスカグラ	A	1	0	葉		福島他	90614	
ウラジロガシ	A	2	1	葉、芽		福島他	90614	
ウリカエデ	A	1	0	葉、莖	先端を食いちぎっている	伊藤他	90614	
カキノキ	A	3	0	葉、莖、枝		福島他	90614	
カヤ	B	3	0	葉	ほぼ枯れている	伊藤他	90614	
クロモジ	A	0	-			福島他	90614	
コウヤボウキ	A	1	1	葉、芽		福島他	90614	
コゴメウツギ	A	1	0	葉		福島他	90614	
コバノガマズミ	A	1	0	葉、小枝		福島他	90614	
サジガクビソウ	A	3	1	花、花軸	葉を残し全ての花柄を食	福島他	90614	
シラキ	A	1	0	葉、小枝		福島他	90614	
スズタケ	B	1	0	葉		福島他	90524	
スズタケ	B	1	0	葉	先端を喰われている	伊藤他	90614	
ツゲ	A	3	0	葉、芽	殆ど刈りこまれた状態	伊藤他	90614	
ナガバノコウヤボウキ	B	2	0	葉		福島他	90524	
ノイバラ	A	2	0	葉、莖、小枝		福島他	90614	
ヒイラギ	A	1	1	芽		福島他	90614	
ヒイラギ	A	1	0	芽	先端に食害	伊藤他	90614	
ホテイチク	B	3	1	筍	保護柵内は食害なし。	福島他	90524	IMG2956
ホテイチク	B	3	0	筍	地際まで食害	伊藤他	90614	
マダケ	B	3	1	筍	地際まで食害	伊藤他	90614	
ムラサキシキブ	A	1	0	葉、小枝		福島他	90614	
モミ	A	3	0	葉	ほぼ枯れている	伊藤他	90614	
モミジイチゴ	A	1	0	莖	今季着葉後の食痕は無い。	福島他	90524	
モミジイチゴ	A	1	1	葉、莖		福島他	90614	
ヤブツバキ	A	1	0	葉		福島他	90614	
ヤブムラサキ	A	2	1	葉、小枝		福島他	90614	
ヤブレガサ	A	3	1	葉	莖を残し全ての葉を食	福島他	90614	

ヤマブキ	A	3	0	葉、芽。茎		福島他	90614	CIMG684
ヤマボウシ	A	1	0	葉		福島他	90614	

(凡 例)

調査コースと場所	A B C	巨木林・景観管理林・コナラ林等森の平たん部全域 マダケ林、ホテイチク林等A区域の南側全域 シイ・カシ林、スタジイ林
食害の程度	重：3 中：2 軽：1 無：0	食害の程度著しく、個体の死滅又は群落の消滅が懸念される。 全個体数の概ね3～7割又は1個体の概ね3～7割に食害がある。 食害の程度軽微で種の保全に影響が少ない。 食害が無い。
食痕の新しさ	新：1 古：0	1週以内の食痕 1週以前の食痕
食害の部位		葉、新芽、花、茎、樹皮などの部位、又は全株

(お願い)

1. このデータは5月24日の試行分と6月14日の第1回調査分のみのデータを整理した中間報告です。記録担当者の記載ミス、記載漏れなどもあります。お気づきのことありましたら、事務局にご一報下さい。
2. この調査方法は、全ての会員が参加して調査しやすい簡便な方法として今年度開始したもので、巨木林で別途実施中の林床木本調査と相俟って、豊英島の動物食害の実態を明らかにするものです。今後継続して調査を実施しますので、調査への会員の皆様のご協力をお願いします。
3. 調査データはE X C E Lに整理保存されています。原データ入手希望の方には要望あれば送信します。